



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東・名
 コード番号 4118 URL http://www.kaneka.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 公一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 石原 忍 (TEL) 06-6226-5169
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	391,036	10.7	18,572	58.0	19,924	65.4	12,134	83.2
25年3月期第3四半期	353,262	0.4	11,757	24.4	12,049	33.2	6,622	120.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 23,853百万円(165.1%) 25年3月期第3四半期 8,998百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	36.01	35.98
25年3月期第3四半期	19.65	19.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	523,623	289,176	53.2
25年3月期	484,456	270,449	53.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 278,473百万円 25年3月期 260,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	11.2	30,000	89.8	28,000	71.3	15,000	60.9	44.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	350,000,000株	25年3月期	350,000,000株	
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	12,967,514株	25年3月期	13,049,280株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	336,999,541株	25年3月期3Q	336,954,333株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成26年2月10日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)の業績は、売上高は391,036百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)比10.7%増)と前年同四半期と比較して増収となり、営業利益は18,572百万円(前年同四半期比58.0%増)、経常利益は19,924百万円(前年同四半期比65.4%増)、四半期純利益は12,134百万円(前年同四半期比83.2%増)と増益となりました。

セグメント別では、前年同四半期と比較して、すべてのセグメントで増収となりました。営業利益は、化成製品事業、発泡樹脂製品事業、ライフサイエンス事業は減益となりましたが、機能性樹脂事業、食品事業、合成繊維、その他事業は増益となり、エレクトロニクス事業は黒字化しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化成製品事業

塩化ビニール樹脂は、国内向け販売が堅調に推移しましたが、原料価格上昇の影響を受けました。塩ビ系特殊樹脂は、海外市場で販売数量が増加しました。か性ソーダは、国内需要が低調に推移し、販売数量が減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は76,904百万円と前年同四半期と比べ6,772百万円(9.7%増)の増収となりましたが、営業利益は1,797百万円と前年同四半期と比べ1,015百万円(36.1%減)の減益となりました。

②機能性樹脂事業

モディファイヤーは、製品差別化力の向上、コストダウンなどの収益体質強化に注力し、国内市場・海外市場ともに販売数量が増加しました。変成シリコーンポリマーは、ユニークな品質特性への評価が高く、国内市場・海外市場ともに販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は62,929百万円と前年同四半期と比べ11,016百万円(21.2%増)の増収となり、営業利益は6,761百万円と前年同四半期と比べ2,300百万円(51.6%増)の増益となりました。

③発泡樹脂製品事業

発泡スチレン樹脂・成型品、押出發泡ポリスチレンボードは、販売数量が増加しましたが、原料価格高騰の影響を受けました。ビーズ法発泡ポリオレフィン、海外市場を中心に販売数量が増加しましたが、国内の採算は厳しい状況が続いております。

以上の結果、当セグメントの売上高は50,091百万円と前年同四半期と比べ5,462百万円(12.2%増)の増収となりましたが、営業利益は3,463百万円と前年同四半期と比べ129百万円(3.6%減)の減益となりました。

④食品事業

食品は、消費者の低価格志向が一層強まる中、コストダウンに注力するとともに、食の多様化に対応し、ニーズを先取りした新製品の拡販に努めました。

以上の結果、当セグメントの売上高は100,933百万円と前年同四半期と比べ3,297百万円(3.4%増)の増収となり、営業利益は4,257百万円と前年同四半期と比べ460百万円(12.1%増)の増益となりました。

⑤ライフサイエンス事業

医療機器は、国内外での拡販やコストダウンに注力しましたが、血液浄化システムの販売が低調に推移しました。医薬バルク・中間体は、販売数量が低調となりましたが、機能性食品素材は、還元型コエンザイムQ10のサプリメントとしての認知が進み、販売数量が前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は34,480百万円と前年同四半期と比べ289百万円(0.8%増)の増収となりましたが、営業利益は5,050百万円と前年同四半期と比べ1,830百万円(26.6%減)の減益となりました。

⑥エレクトロニクス事業

超耐熱性ポリイミドフィルムは、需要が拡大しているエレクトロニクス製品市場で新製品のラインアップや新規案件の採用などにより販売数量が前年同四半期を上回りました。また、需要が大幅に増大しているスマートフォン、タブレットPCのタッチパネル向けに、本年度新たに、透明導電性フィルム(ITOフィルム)を事業化しました。太陽電池は、美観と性能を併せ持つ極めてユニークな建材製品としての市場認知が進み、国内の住宅向け販売が拡大するとともに徹底したコストダウンに注力しました。太陽電池関連部材は販売数量が前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は35,969百万円と前年同四半期と比べ5,595百万円(18.4%増)の増収となり、営業利益は677百万円と黒字化しました。

⑦合成繊維、その他事業

合成繊維は、高付加価値品の拡販を進めるとともに、コストダウンなどの収益改善策に注力しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は29,726百万円と前年同四半期と比べ5,338百万円(21.9%増)の増収となり、営業利益は6,726百万円と前年同四半期と比べ3,305百万円(96.6%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ39,167百万円増の523,623百万円、有利子負債残高は、5,791百万円増の92,224百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加等により18,726百万円増の289,176百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により26,537百万円となりました。投資活動による資金の支出は、有形固定資産の取得による支出等により29,381百万円、財務活動による資金の支出は、配当金の支払額等により2,770百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末残高は、27,411百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続いており、欧州でも持ち直しの兆しが見られるものの、中国・インドなど新興国の成長ペース鈍化など、先行きの不確実性が引き続き大きい状況となっています。

わが国経済は、円高の修正、政府の経済政策などを背景に、景気は緩やかに回復しているものの、海外景気の下振れリスクなど、引き続き不透明感が残る状況であります。

このような経済環境の中、当社グループは、引き続き重点戦略分野への経営資源の投入、成長のドライビングフォースとなる新規事業の創出やグローバル展開を一層強化し、事業構造の変革に注力するとともに、既存事業においては、新製品の上市など販売数量増大のための施策及び競争力向上のための製造コストや経費の削減等の収益力回復策に徹底して取り組んでまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社は、一部を除く有形固定資産の減価償却方法についてこれまで定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

当社は、2009年策定の長期ビジョン「KANEKA UNITED 宣言」(2020年度目標)に基づくグローバル展開を強力に推進しておりますが、本年度以降、海外における生産・販売拠点の新設、生産能力の増強等、海外投資がいよいよ本格化します。このような資源配分の変化を契機に、当社グループの減価償却方法について再検討した結果、定額法に統一することが適切であると判断するに至りました。当社グループの有形固定資産は、総じて長期安定的な使用が可能であり、経済的実態の点からより定額法が適合していること、また定額法への統一が当社グループ会社間のコスト比較、ひいては資源配分の意思決定に寄与すると同時に、グローバル展開している多国籍企業との業績比較も容易になる等、当社のグローバル化の推進に資すると考えられるためです。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,776百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,038	27,652
受取手形及び売掛金	116,705	126,717
有価証券	110	110
商品及び製品	47,409	54,229
仕掛品	8,451	8,749
原材料及び貯蔵品	24,417	26,747
その他	13,847	12,012
貸倒引当金	△110	△100
流動資産合計	242,869	256,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,484	55,864
機械装置及び運搬具（純額）	64,185	72,540
その他（純額）	51,877	58,429
有形固定資産合計	169,547	186,833
無形固定資産		
のれん	4,014	5,620
その他	4,589	5,980
無形固定資産合計	8,603	11,601
投資その他の資産		
投資有価証券	46,862	53,558
その他	16,799	15,744
貸倒引当金	△226	△231
投資その他の資産合計	63,435	69,071
固定資産合計	241,586	267,505
資産合計	484,456	523,623

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,238	75,249
短期借入金	48,226	43,296
未払法人税等	1,622	2,821
引当金	115	6
その他	34,924	42,068
流動負債合計	149,128	163,442
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	25,442	36,190
退職給付引当金	19,497	20,036
引当金	322	237
負ののれん	208	52
その他	4,407	4,489
固定負債合計	64,878	71,005
負債合計	214,006	234,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	34,836	34,836
利益剰余金	200,986	207,901
自己株式	△10,547	△10,477
株主資本合計	258,322	265,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,261	12,515
為替換算調整勘定	△5,989	649
その他の包括利益累計額合計	2,271	13,165
新株予約権	159	139
少数株主持分	9,695	10,563
純資産合計	270,449	289,176
負債純資産合計	484,456	523,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	353,262	391,036
売上原価	266,735	292,095
売上総利益	86,526	98,940
販売費及び一般管理費	74,769	80,368
営業利益	11,757	18,572
営業外収益		
受取配当金	951	1,110
為替差益	1,145	1,686
持分法による投資利益	—	272
その他	999	1,272
営業外収益合計	3,096	4,341
営業外費用		
支払利息	652	728
固定資産除却損	863	1,261
持分法による投資損失	21	—
その他	1,267	998
営業外費用合計	2,804	2,989
経常利益	12,049	19,924
特別利益		
投資有価証券売却益	277	—
特別利益合計	277	—
特別損失		
固定資産売却損	—	298
支払補償費	931	—
訴訟関連費用	464	814
退職給付費用	—	363
特別損失合計	1,395	1,476
税金等調整前四半期純利益	10,931	18,448
法人税、住民税及び事業税	1,918	4,059
法人税等調整額	2,403	1,802
法人税等合計	4,321	5,862
少数株主損益調整前四半期純利益	6,609	12,585
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△13	451
四半期純利益	6,622	12,134

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,609	12,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214	4,278
為替換算調整勘定	2,167	6,956
持分法適用会社に対する持分相当額	7	32
その他の包括利益合計	2,388	11,267
四半期包括利益	8,998	23,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,949	23,027
少数株主に係る四半期包括利益	49	825

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,931	18,448
減価償却費	21,101	14,987
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△58	324
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△94	△7
受取利息及び受取配当金	△1,001	△1,147
支払利息	652	728
持分法による投資損益(△は益)	21	△272
固定資産処分損益(△は益)	449	1,128
売上債権の増減額(△は増加)	3,101	△7,767
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,636	△7,449
仕入債務の増減額(△は減少)	△416	10,015
その他	△7,300	△1,139
小計	23,750	27,847
利息及び配当金の受取額	1,039	1,206
利息の支払額	△596	△629
法人税等の支払額	△4,361	△1,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,832	26,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,903	△26,407
有形固定資産の売却による収入	470	105
無形固定資産の取得による支出	△1,504	△1,931
投資有価証券の取得による支出	△139	△49
投資有価証券の売却による収入	338	309
関係会社株式の取得による支出	△18	△1,056
貸付けによる支出	△524	△662
貸付金の回収による収入	574	210
その他	△243	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,949	△29,381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,750	△1,303
長期借入れによる収入	7,066	12,454
長期借入金の返済による支出	△7,143	△8,397
リース債務の返済による支出	△312	△253
少数株主からの払込みによる収入	—	224
配当金の支払額	△5,391	△5,392
少数株主への配当金の支払額	△61	△89
自己株式の取得による支出	△3	△14
自己株式の売却による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	905	△2,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	471	1,102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,739	△4,511
現金及び現金同等物の期首残高	27,157	31,747
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	268	175
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,686	27,411

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	70,132	51,912	44,628	97,636	34,191	30,374	24,387	353,262	—	353,262
セグメント間の 内部売上高又は振替高	924	469	131	0	5	473	1,220	3,224	△3,224	—
計	71,057	52,382	44,760	97,636	34,196	30,847	25,607	356,487	△3,224	353,262
セグメント利益 又は損失(△)	2,813	4,460	3,592	3,797	6,881	△2,808	3,420	22,158	△10,400	11,757

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	22,158
セグメント間取引消去	△22
全社費用(注)	△10,336
その他の調整額	△42
四半期連結損益計算書の営業利益	11,757

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	76,904	62,929	50,091	100,933	34,480	35,969	29,726	391,036	—	391,036
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,763	556	174	0	2	855	1,431	4,783	△4,783	—
計	78,667	63,485	50,265	100,934	34,482	36,825	31,157	395,820	△4,783	391,036
セグメント利益	1,797	6,761	3,463	4,257	5,050	677	6,726	28,735	△10,162	18,572

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	28,735
セグメント間取引消去	14
全社費用(注)	△10,161
その他の調整額	△15
四半期連結損益計算書の営業利益	18,572

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載の通り、当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社は、一部を除く有形固定資産の減価償却方法についてこれまで定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「化成品事業」で1,385百万円、「機能性樹脂事業」で582百万円、「発泡樹脂製品事業」で434百万円、「食品事業」で632百万円、「ライフサイエンス事業」で380百万円、「エレクトロニクス事業」で1,369百万円、「合成繊維、その他事業」で484百万円増加しております。また、報告セグメントに帰属しないセグメント利益の調整額の全社費用が506百万円減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス」セグメントにおいて、(株)リバーセイコーの株式を平成25年7月に取得し、連結の範囲に含めたため、1,208百万円のものれんが発生しております。